

園芸・緑地管理用除草剤

BASF

大豆バサグラン[®]液剤 (ナトリウム塩)

ベンタゾン..... 40.0%

種類名/ベンタゾン液剤

農林水産省登録/第21486号

(BASFジャパン登録)

毒性/普通物*

有効年限/5年

包装/1ℓ×12

特 長

- 広葉雑草に対し、だいたず生育期処理で優れた効果を発揮します。
- 水田転作畑で問題となっているアメリカセンダングサやタデ科・アブラナ科雑草等、広範囲の広葉雑草に高い効果を発揮します。
- 広葉雑草の生育初期から6葉期まで使用できる、広い処理適期幅を有します。

適用雑草と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量		総使用回数*	使用方法
			薬量	希釈水量		
だいたず	一年生雑草 (イネ科を除く)	だいたずの2葉期～開花前 (雑草の生育初期～6葉期) 但し、収穫45日前まで	100～150mℓ	100ℓ	本剤 ベンタゾン剤 1回 2回 [畦間処理は 1回]	雑草茎葉 散布又は 全面散布 畦間雑草 茎葉散布
		だいたずの生育期 (雑草の生育初期～6葉期) 但し、収穫45日前まで	300～500mℓ			

上手な使い方

- 土壌処理剤との体系処理でお使いください。土壌処理剤との体系で使用することで、対象雑草の生育ステージが揃いやすくなり、除草効果が安定します。
- 気象条件を考慮してお使いください。ベンタゾンを含め光合成阻害剤は、処理時および処理後の気象条件によって作物および雑草に対する活性が異なります。一般に低温・曇天時には活性が低く、高温・晴天時には高くなる傾向にあるため、葉害回避を重視する場合には前者の条件で、効果発揮を重視する場合は後者の条件で処理してください。また、降雨が予想される場合には散布をさけてください。
- イネ科雑草が混在する場合は、イネ科雑草に有効な除草剤との体系でお使いください。
- 雑草の3～6葉期までにお使いください。大豆バサグランは所定の葉期を越えると効果が劣り、使用時期が早いと後次発生した雑草を抑えることができないため、雑草の3～6葉期までにお使いください。
- 全面散布する場合には、だいたずの葉に隠れている雑草にも、直接かかるように株元までしっかり散布してください。
- 畦間散布では、薬液が作物に飛散しないように散布してください。
- アカザ、シロザ、イヌビユ、ホソアオゲイトウ等の雑草には、低薬量では効果が劣るので、これら雑草の優占圃場では、畦間雑草茎葉散布で使用してください。
- エノキグサなどトウダイグサ科の雑草には効果が劣るので、この雑草の優占圃場では使用しないでください。

使用にあたって

■使用上の注意

- 雑草茎葉にかかるよう、まきむらのないよう均一に散布してください。
- イネ科雑草には効果がないので、イネ科雑草の優占圃場での使用はさけてください。また、イネ科雑草が混在する場合は、これらに有効な除草剤との体系で使用してください。
- アカザ科、ヒユ科の雑草には低薬量では効果が劣るので、これら雑草の優占圃場では畦間雑草茎葉散布で使用してください。
- トウダイグサ科の雑草には効果が劣るので、この雑草の優占圃場では使用しないでください。
- 散布後、曇天、降雨日が長く続くと効果が劣ることがあるので、留意してください。

■葉 害

- だいたいの品種によっては葉害により減収する場合がありますので、本剤の使用に当たっては、病害虫防除所等指導機関の指導を必ず受けてください。
- 本剤の使用により、だいたいの葉に斑点、色抜け、黄変、縮葉症状の一過性の葉害を生じます。
また、葉害の程度および葉害の回復は品種により異なり、減収となる場合もあるので、使用者の責任において事前に使用品種における葉害の程度を十分確認してから使用してください。また、新2号、操、山白玉では、強い葉害が発生するので、使用をさけてください。
なお、次の品種では本剤の使用により減収となった事例が報告されています。
 - タチユタカ、ゆめみのり、オオツル、オクシロメ、コケシジロ、コスズ、すすおとめ、すすこまち、タマホマレ、トヨコマチ、トヨハルカ、トヨムスメ、ナカセンナリ、納豆小粒、ナンブシロメ、フクシロメ、ユウヅル、ユキホマレ、ワセシロゲ
- 葉害を助長するので、重複散布はしないでください。また、以下の場合には葉害を助長することがあるので、使用はさけてください。
 - ① 著しい高温が続く場合
 - ② 日射が強く、蒸散が盛んな場合
 - ③ 低温、湿害、肥料不足などによりだいたいの生育不良の場合
- 周辺作物にかからないように注意してください。

■安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。使用後は洗眼してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。

■貯蔵上の注意

- 密栓し、直射日光をさけ、なるべく低温な場所に保管してください。

本資料の記載内容は2023年1月17日現在の登録内容に基づいています。